

2025 年 2 月 28 日
株式会社日立製作所

日立の Head of OSPO が Cloud Native Computing Foundation の Governing Board メンバーに就任

Linux Foundation EU 支部などでグローバルな OSS 活動を強化し、コミュニティ活性化へ貢献



日立の Head of OSPO 中村 雄一

このたび、株式会社日立製作所(以下、日立)の Head of OSPO(Open Source Program Office)である中村 雄一(なかむら ゆういち)が、コンテナやマイクロサービスなどクラウドネイティブ技術の開発や普及をグローバルにリードしている非営利団体 Cloud Native Computing Foundation^{*1}(以下、CNCF)の Governing Board(以下、ボード)に就任しました。ボード選出において、日本およびアジア太平洋地域での CNCF の普及や他の LF 団体との連携といった公約を評価され、日本企業から初めての選挙による就任となります^{*2}。今後、4 月に英国で開催予定の KubeCon CloudNativeCon Europe 2025 カンファレンスで、CNCF Japan Chapter の活動などについて講演予定です。

また日立は CNCF に加えて、グローバルな OSS 活動を強化するため、1 月に加入した Linux Foundation(以下、LF)の EU 支部である LF Europe や TODO Group^{*3}において、クラウドネイティブ技術を活用した社会課題の解決や、日立 OSPO のノウハウの展開による OSS のグローバルなエコシステムのさらなる浸透など、コミュニティ活性化へ貢献していきます。

*1 Kubernetes®などのクラウドネイティブ向け OSS 技術の推進を目的に、2015 年に The Linux Foundation 傘下に設立された団体

*2 日立が所属する CNCF Gold メンバーからのボード選定の改選において、日本企業から初めての選出。今回の改選で 2 名が就任

*3 OSS の使用とコミュニティ構築におけるベストプラクティスを推進し、企業や組織に効果的な OSPO プログラムの活性化を目的とした団体

今回の就任にあたり、中村は「これまで LF のボード・エバンジェリストとして、OSS のコミュニティ活動とビジネス活用の両立・連携を追求してきました。具体的には、国内コミュニティと CNCF などの関連団体との橋渡しや、Cloud Native Community Japan や FinOps Foundation Japan Chapter の立上げなど、日本国内の OSS 普及に携わってきました。今回 CNCF ボードメンバーに就任したことにより、日本およびアジア太平洋地域における CNCF の活動の促進や、他の LF 傘下団体とのコラボレーションの拡大をはかり、6 月

に初開催される KubeCon Japan の成功をボードの一人として支援していきます。」と述べています。

CNCF のボード就任について、CTO of the CNCF である Chris Aniszczyk 氏は「中村 雄一氏が CNCF のボードに加わることを大変嬉しく思います。彼のオープンソースの取り組みにおけるリーダーシップは、特に日本やアジア太平洋地域において、クラウドネイティブの普及を推進する上で重要な役割を果たしています。我々は彼と密に協力し、CNCF の影響力をさらに拡大し、オープンソースのエコシステムを世界中で強化していくことを楽しみにしています。」と述べています。

■KubeCon CloudNativeCon Europe 2025 カンファレンスでの日立による講演

4月1日にロンドンで開催される LF の年次イベントである KubeCon CloudNativeCon Europe 2025 カンファレンスにおいて、以下のパネルセッションへの登壇を予定しています。

- ・中村 雄一: 「Cloud Native Communities in Action: How Japan Shaped Its Path to KubeCon」
- ・乗松 隆志: 「Evolving OpenID Connect and Observability in Keycloak」

<https://events.linuxfoundation.org/kubecon-cloudnativecon-europe/>

■CNCF におけるボードの役割

CNCF の予算承認や活動のための資金管理、知的財産(著作権、特許、商標)の方針策定、マーケティングや普及活動のリード、財務ガバナンスの管理、ボードの議案への投票を行います。

■CNCF のボードに就任した中村 雄一についての略歴

株式会社日立製作所 OSS ソリューションセンタ チーフ OSS ストラテジスト、博士(工学)

- 2001 年～：OSS セキュリティの研究開発に携って以降、特に国内での SELinux(Security-Enhanced Linux)の普及活動をリードし、多数のコードをコミュニティに提供
- 2015 年：SELinux に関する OSS 開発活動が認められ、OSS セキュリティの コミュニティメンバーと共に、情報処理学会より「喜安記念業績賞」を受賞
- OSS Keycloak を活用した API 管理ソリューションを立ち上げ、メンテナも育成
- 2022 年：LF のボードメンバーに就任
- 2023 年：CNCF の Japan Chapter である Cloud Native Community Japan の設立に参画
- 2024 年：Linux Foundation Japan 初代エバンジェリスト就任
- 2024 年：日立 OSPO を設立し、初代 Head of OSPO に就任

■日立の OSS の取り組み

- ・日立 OSPO ホームページ

<https://www.hitachi.co.jp/products/it/oss/ospo/index.html>

- ・日立クラウド Cloud Native Computing Foundation(CNCF)の活動

<https://www.hitachi.co.jp/products/it/harmonious/cloud/articles/cncf/>

- ・クラウドネイティブの技術革新を促す日本初の公式コミュニティ「Cloud Native Community Japan」設立
に参画

<https://www.hitachi.co.jp/New/cnews/month/2023/12/1201.html>

- ・Linux Foundation Japan 初代エバンジェリストに日立グループから 2 名選出

<https://www.hitachi.co.jp/information/info/20240819.html>

- ・OSS「Keycloak」開発プロジェクトのメンテナに日立の社員が就任

<https://www.hitachi.co.jp/products/it/oss/news/20211026.html>

- ・日本企業で初めて、日立の社員がエンタープライズ向けブロックチェーンの OSS「Hyperleger Fabric」開発
プロジェクトのコアメンテナに就任

<https://www.hitachi.co.jp/products/it/blockchain/topics/20240418.html>

- ・日立社員が CNCF の Kubernetes 全資格を持つ「Kubestronaut」に認定

<https://www.hitachi.co.jp/products/it/oss/news/20241011.html>

- ・日立が FinOps 普及活動を促進する日本初の拠点「FinOps Foundation Japan Chapter」設立に
参画

https://www.hitachi.co.jp/products/it/harmonious/cloud/news/2024/info_2411_02.html

■商標注記

記載の組織名、製品名などは、それぞれの組織の登録商標もしくは商標です。

■お問い合わせ先

株式会社日立製作所 クラウドサービスプラットフォームビジネスユニット

マネージド&プラットフォームサービス事業部

お問い合わせフォーム：<https://www.hitachi.co.jp/it-pf/inq/NR/>

以上